

第7回アフリカ開発会議横浜開催連携事業 / TICAD7 パートナー事業
ドキュメンタリー短編映画「ダイヤモンドの来た道 ～シエラレオネ 採掘現場の声～」
映画感想文コンクール開催(受付期間:9月5日まで)

特定非営利活動法人ダイヤモンド・フォー・ピース(横浜市栄区)は、西アフリカ・シエラレオネ共和国の手掘りダイヤモンド採掘の現状を関係者へのインタビューを通して描いた短編映画「ダイヤモンドの来た道 ～シエラレオネ 採掘現場の声～」

(原題「Voices from the Mine」制作:バース大学(英国)2018年公開、日本語字幕:ダイヤモンド・フォー・ピース 2019年)の映画感想文コンクールを開催しています。

本コンクール開催に伴い、映画を授業で鑑賞する学校や上映会を開催する学校・企業・団体を募集しています。



本コンクールウェブページ
QRコード

本コンクールは、日本政府が主導し、国連、世界銀行、国連開発計画、及びアフリカ開発委員会(AUC)が共同で開催する第7回アフリカ開発会議(TICAD7)の横浜開催連携事業及びTICAD7パートナー事業に認定されています。TICADはアフリカの開発をテーマとする国際会議で、8月28日から30日にパシフィコ横浜で開催され、アフリカ各国の首脳陣、国際機関、ドナー国、日本政府関係者、民間企業や市民団体が参加し、アフリカの開発について議論する予定です。



◆映画あらすじ

婚約指輪の約8割に使われるダイヤモンド。供給されるダイヤモンドの約2割は、手掘りで採掘されたものである。

シエラレオネの主な産業は、年産約250億円相当のダイヤモンド。しかしダイヤモンド鉱山地域の手掘り採掘労働者は労働搾取や人権侵害により、極貧状態にある。

この地区はシエラレオネ最大のダイヤモンド産出地域で、20万人が採掘労働に携わっている。労働者の1日の賃金は平均すると50円で、家族を養うこともままならない。彼らを搾取する出資者との関係は国際的にも注目され、「現代の奴隷制度」とも言われている。

政府による制度化や監視は実効性に乏しく、違法採掘、闇取引や密輸が横行している。

手掘りダイヤモンド採掘労働者、採掘権保有者、仲買人、ベルギーの輸入業者やジュエリー販売業者がそれぞれの視点から思うことを述べる。



写真: Alazi Dream Project 提供

◆本コンクールの目的

ダイヤモンドは宝飾品だけでなく、半導体など私たちが日常的に使用する製品にも使われている身近なものです。日本のダイヤモンド消費量は、米国、中国に次いで世界第3位。

そのダイヤモンドは、紛争の資金源、人権搾取、環境破壊など様々な課題を抱えています。本映画を通して、日本ではほとんど知られていないアフリカの手掘りダイヤモンド採掘の実態を知り、世界の裏側に思いを馳せ、私達の身近にあるものの背景を知り、社会をよりよくするための行動を起こすきっかけになればと考えています。

◆本映画に関する持続可能な開発目標(SDGs)



◆本コンクールの参加方法

【1. 映画を見る】

- ① 本コンクールページ(<http://diamondsforpeace.org/movie1/>)で鑑賞します。
- ② 上映会
当法人または協力団体が実施する上映会に参加し、鑑賞します。
- ③ DVD (学校・企業・団体むけ)
学校、企業、団体等で鑑賞する場合、無料で送付される DVD を使い鑑賞します。
DVD 送付は本コンクールページから申し込めます。

【2. 感想文を書く】

市販の原稿用紙または本コンクールページから原稿用紙をダウンロードし、感想文を書きます。
小学生から大人まで誰もが応募できる部門を用意しています。

【3. 応募する】

- ① 郵送で応募する (個人、学校・企業・団体)
本コンクールページから応募フォームをダウンロードし、記入します。
印刷した応募フォーム及び感想文を事務局に郵送します (9月5日 (木) 消印有効)。
- ② オンラインで応募する
本コンクールページより応募フォームをダウンロードし、記入します。
入力した応募フォームと感想文を、コンクールページにアップロードし送信します。

【4. 表彰】

応募作品を審査の上、最優秀賞、優秀賞、TICAD7賞、学校賞等を決定します。
表彰式は2019年12月頃、都内にて開催予定です。

★当リリースへのお問い合わせ先

特定非営利活動法人ダイヤモンド・フォー・ピース 短編映画事務局

〒247-0007 神奈川県横浜市栄区小菅ヶ谷 1-2-1

地球市民かながわプラザ NPO などのための事務室内

TEL: 050-6863-3111

URL: <http://diamondsforpeace.org>

eMail: info@diamondsforpeace.org

担当: 村上千恵